

港区立元麻布保育園
指定管理者候補者選考委員会
報 告 書

令和6年10月17日

港区立元麻布保育園指定管理者候補者選考委員会

目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	1
II	選考経過について	2
III	選考対象者について	5
IV	選考結果について	5
V	最終選考結果について	9

はじめに

本報告書は、港区立元麻布保育園の指定管理者候補者を選考するに当たり、「港区立元麻布保育園指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過及び結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めることとしています。

「港区立元麻布保育園指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、港区立元麻布保育園の設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査に当たっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意のもとに結論を導き出すよう努めました。

港区立元麻布保育園指定管理者候補者には、5事業者から応募があり、様々な提案を受けることができました。いずれの提案も現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた大変優れた提案であったため、選考作業は困難を極めました。指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと大変喜ばしく感じています。

応募いただいた事業者の皆様には深く感謝するとともに、選ばれた事業者には、港区立保育園条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待します。

令和6年10月17日

港区立元麻布保育園指定管理者候補者選考委員会

委員長 岡田 耕一

I 選考した指定管理者候補者について

1 指定管理者候補者

名 称	芳美会・おれんじハウス保育園共同事業体
代表団体	名 称：社会福祉法人芳美会 代表者：理事長 齋藤 祐善 所在地：東京都町田市真光寺三丁目 1 番地 6
構成団体	名 称：特定非営利活動法人おれんじハウス 代表者：理事長 中陳 亮太 所在地：神奈川県横浜市神奈川区栄町 1 番地 19 グレイス横浜ポートシティ 1 階

2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立元麻布保育園	東京都港区元麻布二丁目 14 番 12 号

3 指定期間 令和 7 年 4 月 1 日から令和 17 年 3 月 31 日まで（10 年）

4 選考の理由

- (1) 医療的ケア児・障害児の受入れ実績が豊富で、医療的ケアに関するマニュアルが充実していることに加え、職員配置も手厚く、また、医療的ケア児・障害児クラスの運営に対する考え方、安全対策や危機管理体制が具体的に提案されており高く評価できます。
- (2) 事業者が運営している他施設から経験豊富な保育士や看護師等を配置するほか、令和 7 年 1 月から、開設準備室を設置し、保育計画や各種マニュアルの作成、近隣の関係機関との関係づくりを進めるなど、職員確保や円滑な引継について具体的な提案があり、高く評価できます。
- (3) 職員の孤独感などをやわらげ、気軽に相談し合える環境を構築するための、研修機会の充実や交流チームの設定のほか、法人本部と職員との定期的な面談の実施やパワーハラスメントの防止など、職員の定着化のための取組や法人本部からのサポート体制が高く評価できます。
- (4) 卒園児などを対象とした、学童型一時預かり保育事業など、事業者のこれまでのノウハウを活かし、将来を見据えた提案があり、高く評価できます。

Ⅱ 選考経過について

1 選考の方法

(1) 第一次審査

応募事業者から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として3事業者を選考しました。

(2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを合わせた)総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

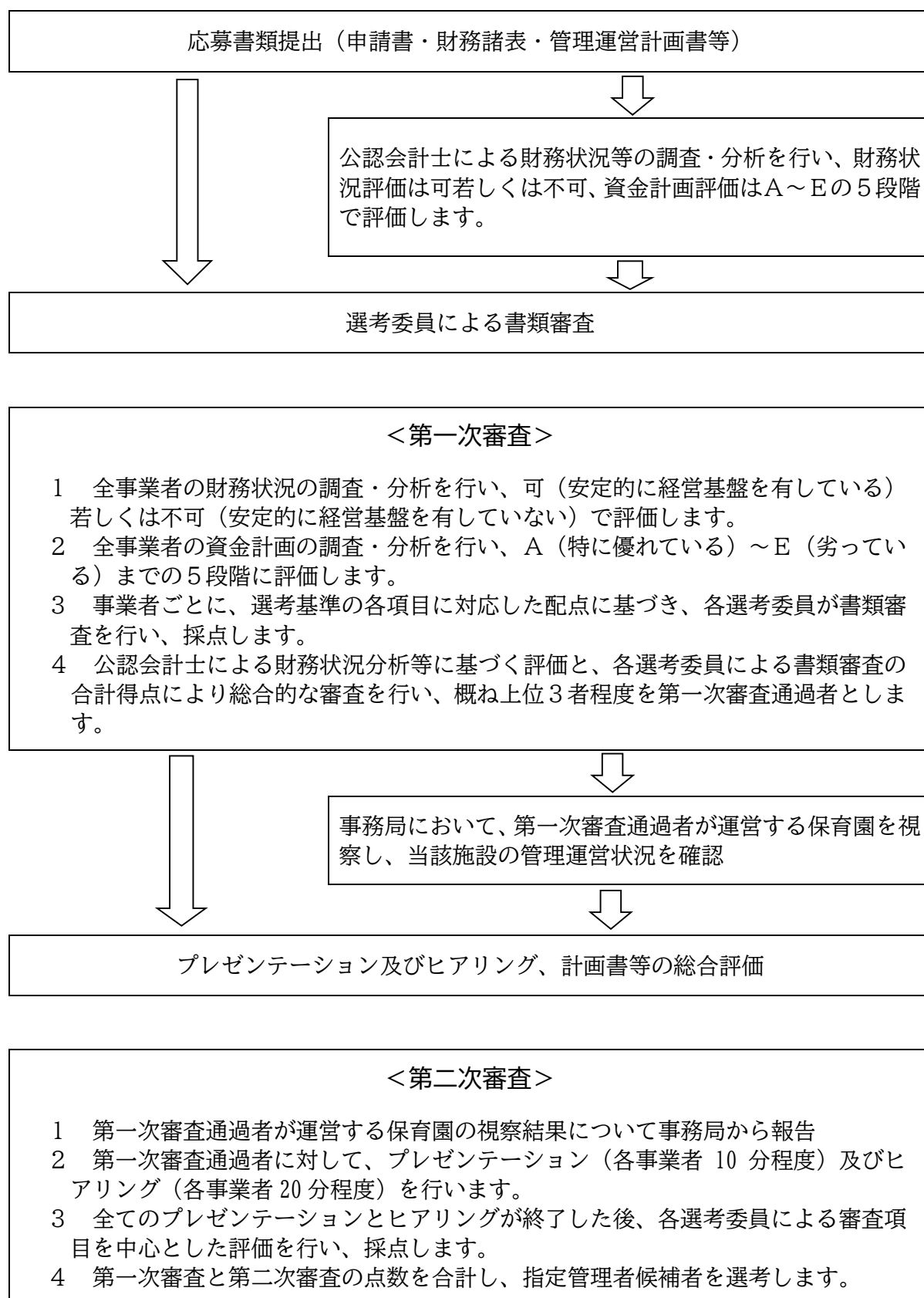
2 選考委員会の構成

委員長	岡田 耕一	聖徳大学短期大学部保育学科名誉教授
副委員長	大澤 鉄也 (令和6年7月31日まで)	港区麻布地区総合支所長
	太田 貴二 (令和6年8月1日から)	
委員	野澤 純子	國學院大學人間開発学部 子ども支援学科教授
委員	星野 恭子	医療法人社団昌仁醫修会 瀬川記念小児神経学クリニック理事長
委員	西川 杉菜	港区子ども家庭支援部子ども政策課長

3 公認会計士

井上 大輔	株式会社港公会計 代表取締役
-------	----------------

4 選考の進め方



5 選考委員会等の開催状況及び経過

(1) 第1回選考委員会

日 時	令和6年7月25日(木曜日)	18時～19時
場 所	オンライン会議	
議 題	委員の委嘱について 候補者の選考方法について 公募要項について 選考基準について	

(2) 公募手続き

ア 公募説明会	令和6年8月7日(水曜日)
イ 現地見学会(1回目)	8月7日(水曜日)
(2回目)	8月22日(木曜日)
(3回目)	9月5日(木曜日)
ウ 質問書受付(1回目)	7月31日(水曜日)～8月16日(金曜日)
(2回目)	8月23日(金曜日)～8月27日(火曜日)
エ 質問への回答(1回目)	8月23日(金曜日)
(2回目)	9月3日(火曜日)
オ 計画書類等受付	7月31日(水曜日)～9月13日(金曜日)

(3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日 時	令和6年10月9日(水曜日)	18時30分～20時
場 所	オンライン会議	
議 題	応募事業者の財務状況等について 第一次審査(書類審査) 第二次審査の方法について	

(4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日 時	令和6年10月17日(木曜日)	18時15分～20時45分
場 所	港区役所 914 会議室	
議 題	第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング) 候補者の決定について	

Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	A事業者	—
2	B事業者	—
3	C事業者（芳美会・おれんじハウス保育園 共同事業体）	東京都町田市真光寺三丁目1番地6 社会福祉法人芳美会内
4	D事業者	—
5	E事業者	—

Ⅳ 選考結果について

1 第一次審査

（1）財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

各事業者より提出された財務諸表（決算報告）をもとに、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の評価を行いました。

イ 資金計画評価

各事業者より提出された資金計画書をもとに、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積もりの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階の評価を行いました。

（2）選考基準表に基づく採点

選考委員ごとに評価した点数を合計し、選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1,175点満点)
1	C事業者（芳美会・おれんじハウス 保育園共同事業体）	—	C	866点
	社会福祉法人芳美会	可		
	特定非営利活動法人おれんじハウス	可		
2	B事業者	可	A	854点

3	A事業者	可	A	721 点
4	E事業者	可	B	604 点
5	D事業者	可	A	508 点

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A：特に優れている、B：優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

（3）選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
C事業者（芳美会・おれんじハウス保育園共同事業体）	・ 医療的ケア児の受入れ実績が豊富で、医療的ケア児・障害児保育のイメージができるような内容だった。 ・ ダイアアップの痙攣の薬や、呼吸器のケアなど医療的ケアに関するマニュアルが具体的で、安心して任せられると感じた。 ・ 保育所保育指針など、運営における基本的な事項を十分に理解している事が分かる内容だった。 ・ 健康・衛生管理、安全対策の記載内容について物足りない部分があった。
B事業者	・ 全体的に具体的に記載されており分かりやすく、特に保育園における虐待や強要、差別の防止や引継について細かく良く記載されていた。 ・ 子ども自身の悩み、トラブル、人権に配慮した取組、職員の定着、保護者との信頼関係や苦情対応について具体的な記載がされ、十分な理解がされていた。 ・ 職員配置について、若手職員が非常に多く、また、非常勤職員も多いので、運営面で心配に感じた。
A事業者	・ 法人本部によるサポートや人材活用、施設における安全対策は必要な事項が記載され、十分な理解がされていた。 ・ 一時保育、休日保育などの特別保育の考え方は、区が求めていることを理解していない部分があった。 ・ 医療的ケア児や障害児の受入れ実績が少なく、医療的ケア児、障害児に関するマニュアルがないことから、運営面で不安に感じた。

E 事業者	・ 保育園の運営実績、医療的ケア児の受入れ実績がなく、園長、副園長の経歴上からも経験値が不足しており、運営面で不安に感じた。 ・ 保育目標や地域特性の記載が十分ではなく、事業者の考え方が分からなかった。 ・ 園運営に関する各種マニュアルの記載が不十分であり、実際に運用されていないように感じた。
D 事業者	・ 保育園の運営実績が子ども園 2 園のみ、そのうち 1 園は今年度から開所しており、運営の実績、経験値として少ない印象を受けた。 ・ いずれの様式も具体的なことが記載されておらず、事業者の考え方が読み取れなかった。 ・ 副園長候補者 2 名がまだ決まっていないなど、来年度の職員体制が不明確であり、不安を感じた。

以上の点を総合的に勘案して、採点集計表の順位のとおり上位 3 事業者を第一次審査通過者としました。

2 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過 3 事業者がそれぞれ 10 分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容にもとづき 20 分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

(2) 採点結果

選考委員ごとに評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに順位付けしました。

順位	事業者の名称	総合点 (1,725 点満点)	第一次審査点数 (1,175 点満点)	第二次審査点数 (550 点満点)
1	C 事業者（芳美会・おれんじハウス保育園共同事業体）	1,288 点	866 点	422 点
2	B 事業者	1,183 点	854 点	329 点

3	A事業者	974 点	721 点	253 点
---	------	-------	-------	-------

(3) 選考経過

各委員が第一次審査通過3事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
C事業者（芳美会・おれんじハウス保育園共同事業体）	・ 医療的ケア児の対応に関する質問などに適切な回答がされており、保育園の運営や安全安心に対する考え方を含め、十分な理解を有していると感じた。 ・ 法人としての運営実績や園長候補者の経験が豊富であるとともに、園運営をはじめ、職員の定着化やハラスメントの対応等における法人のバックアップ態勢がしっかりしていると感じた。 ・ 「学童型一時預かり保育事業」といった将来的な視点を持って、卒園した子どもたちがまた保育園に来るところまで考えているのは、これからの保育所の在り方として大事な視点だと感じた。
B事業者	・ 園長候補者の変更を急遽提案するとともに、当該候補者も資格要件を満たしていないなど、法人としての対応は評価できない。 ・ 医療的ケア児への具体的な対応について、十分な回答がされていなかった。 ・ 職員の経験年数について、経験年数が低くても意欲に長けていれば大丈夫だと回答していたが、その考え方については違和感を持った。
A事業者	・ 医療的ケア児、障害児クラスの運営の考え方や安全安心の確保について、明確な回答がなかった。 ・ 園長候補者の説明は一般的な事項が多く、説明に具体性を欠いており、法人としての本施設の理解度に不安を感じた。 ・ 外部から人材の多くを確保をするとの提案であったが、それを取りまとめるリーダーに関する説明が不十分だった。

V 最終選考結果について

最終選考結果

選考基準に基づき最も高い総合評価を与えられるのは、「芳美会・おれんじハウス保育園共同事業体」です。選考委員会の総意として、「芳美会・おれんじハウス保育園共同事業体」を港区立元麻布保育園指定管理者候補者として選考します。